

今日のキーワード 米『ベージュブック』、賃上げ圧力の高まりを指摘

『ベージュブック』は、米国に12ある地区連邦準備銀行（地区連銀）が、管轄地域の経済状況をまとめた「地区連銀経済報告」のことで、表紙のベージュ色が名前の由来です。『ベージュブック』は、年に8回開催される連邦公開市場委員会（FOMC）の2週間前の水曜日に公表され、金融政策の判断材料として用いられます。今回は景気拡大が長期化するなか、前回に続き労働需給の逼迫が指摘されました。

ポイント1

米国経済は拡大を持続

昨年11月の報告とほぼ同様の評価

- 1月17日に公表された最新の『ベージュブック』は、「全米12の地区連銀からの報告によれば、17年11月下旬から12月末にかけて経済活動は拡大を持続した」と総括しました。前回とほぼ同様の評価です。18年の見通しについても、依然として大半が楽観的でした。

ポイント2

労働需給は引き続き逼迫、賃上げ圧力もじわじわ高まる

企業の価格支配力回復を指摘する報告も散見

- 内容を詳細に見ると、個人消費は自動車販売が“まちまち”だったのに対し、自動車を除く小売売上高は拡大しました。年末商戦については、事前の予想を上回る販売増が報告されるなど、概ね順調だったようです。
- 製造業は、大半が拡大を続けましたが、そのペースは前回の「緩やか」から「緩慢」に僅かながら鈍化しました。非製造業では、前回に続き輸送業の拡大が報告されています。銀行に対する資金需要は堅調でした。
- 労働市場については、ほとんどの地区が引き続き需給の逼迫を指摘しました。賃金上昇率は緩慢でしたが、人材確保のため、賃上げに踏み切る業種、職種が広がっていると報告も散見されました。
- 物価は、「緩やか」ないし「緩慢」なペースで上昇しました。いくつかの地区からは、企業の価格支配力が回復してきたとの報告も寄せられました。



今後の展開

緩やかな利上げ継続の見通し

- 今回の『ベージュブック』は、賃金・物価の上昇圧力が緩やかに高まることを示唆する内容でした。1～3月期中に1度、「利上げ」が実施される可能性はありと見られます。
- 労働市場が完全雇用と見られる水準にほぼ到達したと考えられることから、今後も利上げは継続される見通しです。ただし、物価上昇率は依然として低いため、緩やかな利上げになりそうです。

ここもチェック!

2018年1月17日 活況を呈した2017年の米国『年末商戦』
2018年1月12日 米国『税制改革法』の内容と経済効果は？

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。